

NPO本部が考える 代表的な「地域部活動」拠点の形態



● 複数校から、大きな会場に 大勢が集って活動する形式 (Paletteスタイル)

【利点】

- 複数校から多数集まり、学校を超えた交流が深まる
- 多種多様なジャンルのコラボが可能

【課題】

- 会場費が高額 → 減免や共催はできないか？
- 見守り人員を多数確保 → 主催団体の組織拡充

● 各中学校区の近隣にある小規模なスペースに 少人数が集って活動する形式 (オフライン＋本部経由のリモート融合スタイル)

【利点】

- 会場費の削減、見守り人員確保の省力化
- 生徒自身による移動手段の確保（保護者の負担軽減）

【課題】

- 学校を超えた交流機会の確保（オンラインを有効活用）
- 空き家、空き店舗、未利用の施設等を安価で確保・リフォーム